

【減農薬・減化学肥料栽培】

農業生産法人 合同会社マルヤエコファームでは、減農薬・減化学肥料栽培を追求しています。

土づくりはミネラル養分が豊富な「土根壤有機」を中心に植物性堆肥を重点におき、弊社小売店にて廃棄となる果物・野菜などももみ殻と混ぜて、植物活性酵素「新有機宣言 PRO」により腐食を早めます。

また、酵素の力により堆肥から出るガス(臭い)を抑え、害虫の飛来を最小限に止める効果があります。 酵素は土中微生物の働きを活発にし、土への栄養補給作用を高めるため、化学肥料の使用を減らすことができます。

別紙にも書いてありますが、作物自体の生理活性・代謝を活発にするため、食味にも良い結果が期待できると思います。

「ウインドスター889」は松の樹液が主原料で、土づくりの時は粒剤、葉面散布・灌水の時は液剤を』使用します。 栄養補給の目的以外に、私どもは害虫の忌避効果も期待して使用しています。

天敵昆虫「スワルスキーカブリダニ」と「ヒメハナカメムシ」を入れており、できる限り農薬の使用を減らしています。

その他、補虫トラップも使用しており、必要に応じて有機肥料を追肥して、化学肥料の使用を最低限に抑えています。

また、プランター養液栽培はハウスの中全面に防草シートを敷いてプランターを設置するため、土壤消毒は一切行いません。

農業生産法人
(同)マルヤエコファーム
代表社員 海老原孝治